

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

当院の心不全患者における再入院の要因分析と心臓リハビリおよび多職種カンファレンスの効果

2. 研究の対象患者

旭中央病院に2017年4月1日から2023年3月31日までに入院した心不全患者さんのうち、以下の選択基準をすべて満たし、除外基準のいずれにも該当しない患者さん

- ・ 選択基準
 - 1) 当院に心不全を契機として入院した患者さん
 - 2) 年齢・性別不問
- ・ 除外基準
 - 1) 研究責任(分担)者が研究対象者として不適当と判断した患者さん

3. 研究の対象期間

2017年4月1日～2024年3月31日

4. 研究の概要

心不全患者において再発予防のための疾病管理は重要である一方で心不全増悪による再入院の誘因の多くは予防可能な生活習慣の因子が多いといわれている。また心不全に対する疾病管理については心臓リハビリテーションや多職種によるチームアプローチが患者のアドヒアランスおよびセルフケアを向上させるとして推奨されている。このような中で当院においても2015年より心不全チームを結成し、入院心不全患者に対して多職種カンファレンスを実施している。そこで、本研究では心不全再入院の要因分析と心不全患者に対する心臓リハビリおよび多職種カンファレンスが患者の再入院を予防するかを検討することを目的とした。

5. 研究実施予定期間

2023年9月20日～2024年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

身長、体重、BMI、年齢、心不全入院歴、カンファ実施の有無、在院日数、再入院までの日数、退院先、退院後の診察状況、血液検査結果、心エコー検査結果、家族構成、心不全増悪原因、心大血管リハビリテーション実施の有無、リハ介入までの日数、リハ介入期間、外来リハ導入者、既往歴、併存疾患、認知症の有無、介護保険の利用状況、その他電子カルテから得られるデータ。

7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究結果を研究対象者（又は代諾者）個々に開示することはありません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

- ・ 研究責任者： リハビリテーション科 三浦秀之
- ・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)